

## 第5回亙理町立中学校再編準備委員会会議録

令和6年12月20日（金）午後7時00分

午後8時13分

- 事務局 午後7時00分開会を宣した。  
第3回亙理町立中学校再編準備委員会会議録の議事録について委員各位へ承認の可否を諮ることを委員長へ依頼。
- 委員長  
事務局 各委員に承認の可否について諮り、承認された。  
週明けに第3回亙理町立中学校再編準備委員会会議録及び会議資料を亙理町ホームページへ掲載することを説明。
- 委員長  
事務局 議事（1）新中学校名募集結果について、事務局へ説明を行うよう告げた。  
（1）新中学校名募集結果について説明。  
資料3ページに基づき、新中学校名募集結果を説明した。  
募集期間：令和6年11月1日（金）から12月9日（月）17時まで  
応募方法：WEB（応募フォーム）、応募用紙（郵送・FAX・応募箱）  
応募件数：WEB99件、応募箱245件、郵送2件の計346件  
（亙理中学校・吉田中学校の新校名が187件、逢隈中学校・荒浜中学校の新校名が159件）  
詳細については、資料4ページから32ページ及び本日配布した一覧表をご覧いただきたい。
- 委員長  
事務局 事務局の説明について質問がないか各委員へ諮ったところ、疑義なく異議ないものを認め（1）新中学校名募集結果についての議事は終了した。  
事務局へ（2）新中学校の校名候補の絞り込みについて説明を行うよう告げた。  
（2）新中学校の校名候補の絞り込みについて説明。  
応募校名を集計したところ、同一意見をまとめると亙理中学校・吉田中学校の新中学校名が88件、逢隈中学校・荒浜中学校の新中学校名が79件となった。  
今後投票を行うにあたって、このままの件数で行うか、委員会において数点に絞った形で行うかご審議いただきたい。
- 委員長  
事務局 各委員へ諮ったところ、委員会において絞り込みを行うことで承認された。  
今回、新中校名をつけた理由が記載されていない応募が数件あった。亙理中学校・吉田中学校の新中学校名については一覧表No.77、78。逢隈中学校・荒浜中学校の新中学校名については、一覧表No.62、67、71、79。これらについて候補の対象とするかご審議いただきたい。
- 委員長  
委員 各委員へ理由のない応募を候補の対象とするか諮った。  
どのように新中学校名を決めるかによると思う。くじ引きのような形で候補を選ぶの

であれば、理由の有無は検討した方が良いと思うが、委員会である程度絞り込みを行うのであれば、そこも含めての絞り込みとなるので、当初から排除する必要はないのではないかと思う。資料に理由等いろいろと書かれているので、そちらを確認すれば良い。

委員長 他に意見はないか各委員へ諮ったところ、疑義なく候補に含めることとした。

事務局 候補の選び方について、事務局に案はないか説明を求めた。

事務局 事務局案について説明した。

応募基準として決まっていた、亘理の地にある、地域への想いや願い・愛着が感じられる名称であることは必要かと思う。

委員会の中で絞り込みを行う際に、候補を何点にするのか、また絞り込みの方法についても投票か話し合いかご審議いただきたい。

委員長 各委員へ、候補の点数及び絞り込み方法について諮った。

委員 委員会で絞り込みを行う際に、南・北や第1・第2と対になっている名称はセットとするのか決めた方が良いと思う。3月の一般投票を行った際に、投票数が多い新中学校名が、片方の校名が南でもう一方が第2となった場合の取り扱いの問題もあると思う。候補の中にセット品を作るというのも良いのではないか。

委員長 各委員へ机上の資料にて自分だったら単品でこれ、セットでこれという形で3～5分程度で検討するよう告げた。

委員 検討していただいたのちに、各委員へ意見を求めた。

委員 子どもが増えて欲しいという願いも込めて亘理を中心に南や北。第1・第2は創立時期も同じだし基準がわからないと思う。

委員 中学校の最終目標は受験だと思うので、受験の際にどこかわかりやすい方が良く思う。

委員 セットで考えるという意見に賛成する。また、校名を変えることによって付随するあらゆるものを変えなければいけない。今後制服やジャージの話まで及ぶと思うが、家庭や地域でのお下がりや着用できない等、費用の面で家庭への影響もあるのではないか。逢隈中学校の施設の老朽化の問題も考えると、お金の使い方も含めて校名の変更を考えられるのではないかと感じた。

委員 亘理町の中学校とわかることが一番大事だと思う。

委員 委員で何点か選んで、賛成の多かった校名から並べていくのが良いと思う。

委員 キラキラネームをどうするのか。ふさわしくないものは削ったうえで皆さんと話をしてペアを作ったりするべきかと思う。投票も組織票になっても困るので、我々が常識の中で判断をして、ふさわしくないものは削らせてもらった中で、ペアにするとかっている話になると思う。また、投票の中で元々の亘理・逢隈という名前が非常に多かったと思うが、我々が候補として挙げて、住民投票で一番になった場合それを選ぶことはありなのかどうか。余計なお金を使わなくて良いのであれば、町にとっても良いことだし、今後の子ども達にとっても良いことになると思うので、その辺も含めて考えていかなければ

ればいけないと思う。

委員 応募いただいた中で、同じような校名が結構ある。多い順から残していくかみんなまで検討していかなければいけないと思う。

委員 名前に関しては、ぱっと見て思ったが、やはりシンプルで理由はこれだというのが明確な方が良いと思う。

委員 絞っていくことに賛成。ジャンルを分けていく作業をしていけば、おのずと数が少なくなり見やすくなると思う。片方が第1で片方が南北だと分かりづらくなると思う。また、地名は入っていないが、想いが入っている名前もジャンルとして残した方が良いと思う。分かりづらいから全部消すのではなく、ジャンルの中で未来にあかりが見える名前は残しても良いのではないか。後は、二つを合わせた名前。そういったジャンルを残していくかも含めて考えて絞ればと思う。

委員 ある程度校名に相応しくないものは絞ってからにした方が良いと思う。

委員 混乱を招かないために、対にできるものは対にした方が良いと思う。亘理南や亘理北あるいは南亘理や北亘理。亘理第1や第2。後は、これもありなのであれば、亘理・逢隈。対になるのはこの4つかと考える。また、個人的な希望を言うと、やはり場所がわかるのが良いと思うと、例えば12番希望の丘を亘理希望丘中学校とか。荒浜と逢隈だと53番の亘理あぶくま中学校。どちらも阿武隈川流域に面しているのでイメージできるかなと思う。今まで統廃合、再編を経験した方に聞くと、やはり費用は非常にかかるようだが、それぞれの地域を尊重するのであれば、かかったとしてもやむを得ないと思う。

委員 対になる校名については、今までお話のあった通りの意見。それ以外の校名を選ぶ時の基準をここで挙げ、地名が入っていると名前として使いやすいかあまり長くなりすぎないとか、基準を決めたいうで絞り込むことが大事だと思う。また、元の名前を残すことにはいろいろな意見があると思う。統合ならば同じ名前でも納得がいくと思うが再編となった時に、個人的な意見ではあるが新たな名前ですスタートするというのが、住民感情も一新できるのではないかと思う。

委員 同時期に再編するので、全く意味合いが違うものではあまり良くないと感じる。さらに先程費用の面の話があったが、お互いのことを考えると、亘理中・逢隈中の出身者が多数を占めるので荒浜中・吉田中出身者の意見が消されてしまう恐れもある。その辺はもう1度考えていきたいと思う。校名を決める時に、基準を出して募集しているので、やはりそこに立ち戻って基準に合致したものであるべきと感じる。

委員 対になるものについては、やはり第1と南では違うと思うので、対になるものについてわかりやすく選べるようにするのが良いと思う。その他の名前に関しては、ふさわしくないものを削っていても良いが、委員の皆さんからこれっていうのを挙げていただいてそれを出すという形でも良いのかなと思う。どこの地かわかるというので削っていくとほぼ半分くらいなくなるのではと見ながら思った。また、亘理と逢隈の人数が多い

というのがあったが、もしかすると亙理という学校名は、亙理町に住んでいる方達だったらあまり抵抗がないのかもしれない。ただ、荒浜で逢隈というのはかなり抵抗が大きいのではないかなと感じた。

委員長 確実なのはまず絞るということ。絞り込みを行うなかで、なくなるのは自然に淘汰されるかもしれない。

事務局へ絞り込み作業について案はないか説明を求めた。

事務局 事務局案について説明した。

例えば、今日持ち帰っていただいて10点選んでいただき、それを事務局へ挙げていただく。投票という形になるが、10点挙げていただければ委員長の話にあったとおりに淘汰されると思う。その中で第1・第2を設定できれば良いと思うし、南・北というセットも出てくるかもしれない。

委員長 各委員へ一旦持ち帰り10点選び投票を行うことについて諮った。

委員 10点にこだわらず最高10点。10点以内で選ぶことで良いのではないか。

委員長 各委員へ10点以内で選ぶこととし、それぞれに優先順位を付けるか諮った。

委員 もう少し絞って3点程度なら順位を付けるのも良いと思うが、10点なら同等で良いのではないか。

委員 10点選ぶのも大変。その中でランキングを付けるとなると悩むと思う。

委員 選んだものを次回の会議で挙げるのか。もしくは、事前に事務局へ提出して、集計結果を次回会議資料として出してもらえる形になるのか。

事務局 次回会議は1月31日（金）を予定しているが、その1週間前には資料としてお示ししないといけないと考えている。そのため、遅くとも17日（金）には集計する必要がある。提出については、事務局から二次元コードを送付するのでフォームでお願いしたい。難しい場合は紙での提出も可能。二次元コードについては、12月27日（金）までにメールで送付する。

委員長 10点以内で選び、優先順位は付けず事務局へ提出することで良いか諮ったところ、疑義なく異議ないものを認め（2）新中学校の校名候補の絞り込みについての議事は終了した。

事務局へ（3）その他について説明を行うよう告げた。

事務局 第6回議事内容は、第2次審査、町民に候補を選んでもらうための要項を検討していただく予定でいる。例としては、同一人物による重複投票の扱い方や3月に行う投票結果公表の際に票数まで公表するか、といったことをご検討いただきたいと考えている。また、今後のスケジュール案についても提示させていただき予定である。なお、3月1日の広報紙に記事を掲載するため、1月中に原稿案を送付するので、そちらもご確認いただくようお願いしたい。

続けて、次回委員会の日程について示した。

日時：令和7年1月31日（金）午後7時から

会場：互理町役場大会議室

委員長

(3) その他について、意見はないか各委員に諮った。

委員

4校で歴史の継承は行われているのか。

事務局

現在町として行っていることはない。令和8年度から教育課程や文化関係のことも専門部会で行っていく予定でいる。

委員

先日同窓会についての話になった。各学校の同窓会をどうするのか。できれば、残す学校と廃止する学校が混在するのではなく、共通的な動きが良いと思うので話し合っ  
て欲しいと言われた。また、令和8年度から教育課程とか決めていくと思うが、中学3年  
生の修学旅行は前年から予約を取らないといけない。その辺りもすり合わせができると  
良いと思う。

委員長

他に質問がないか各委員へ諮ったところ、疑義なく(3)その他について異議ないも  
のと認め承諾された。

続けて、本日の会議内容について意見がないか各委員に諮ったところ、意見はなく議  
事の終了を告げた。